


明日香村歴史的風土創造的活用交付金事業の実施状況について



参考資料10





事業名	1. 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備				関連計画	整備計画	(1) 国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進 ウ 寺院・遺跡等における歴史展示		
	1 簡易な遺跡環境整備								
事業目的	古墳・遺跡の簡易な設備や遺構表示、遺跡のCG作成による歴史展示により、誰もがわかりやすく明日香村の歴史を体感できるような場の整備を行い、明日香村の歴史的風土の保存に多くの人々の理解・協力・参加を得ることができる。								
事業概要	明日香村に点在する数多くの遺跡一つ一つが歴史上非常に価値のある遺跡であるという認識を持ってもらうため、補助対象とならない小規模な遺跡環境整備を実施し、飛鳥時代の歴史文化を学習する場の整備を行う。								
事業費	H22	3,000 千円	H23	4,000 千円	H24	3,300 千円	H25	3,158 千円	総事業費 13,458 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
<p>1. CG映像を作成し、DVD・副読本(解説)を近畿圏小学校に学習資料として配付 「石舞台古墳築造」CG映像DVD 対象校 3,356校(3,600枚作成)【作成期間:H21・22年度】 「飛鳥寺建立」CG映像DVD 対象校 3,377校(3,600枚作成)【作成期間:H23・H24年度】 ※ともに関西大学との連携事業として実施</p> <p>2. 村公式HPに掲載し、一般動画公開を実施中 「石舞台古墳築造」(H23年度～)・「飛鳥寺建立」(H24年度～)</p>						<p>石舞台古墳CG映像</p> 			
評価						<p>飛鳥寺CG映像</p> 			
<p>これまで「地下遺構であるため、その歴史的価値が目に見えない、分かりづらい」といった指摘に対して、築造過程から現在に至るまで等、ストーリー性を持った映像化により、飛躍的に分かりやすく「見える化」を実現しており、歴史展示の新たな手法として効果は高い。 教育学習のコンテンツとしてだけでなく、観光コンテンツとしても利活用の可能性を有している。</p>									

事業名	1. 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備				関連 計画	整備 計画	(3)歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上②イ 観光基盤の整備		
	2 ネットワーク道路の改修								
事業目的	道路整備や駐輪場、便益施設の設置などネットワークを強化することにより、来訪者が明日香村を回遊しながら体系的に歴史を学べるような場の整備が推進され、明日香村の歴史的風土の保存等に多くの人々の理解・協力・参加を得ることができる。								
事業概要	観光来訪者が安全かつ快適に周遊できるよう、周遊歩道を補完するネットワーク道路の整備や道路沿いに駐輪場や便益施設の整備を行う。駐輪場や便益施設は休憩や四季の眺望を楽しめるポイントに配置し、休憩園地としての機能も付加する。								
事業費	H22	46,097 千円	H23	35,940 千円	H24	46,644 千円	H25	25,784 千円	総事業費 154,465 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
1. 道路舗装工事 A=10,941㎡ (H22年度:5,164㎡、H23年度:3,394㎡、H24年度:2,383㎡) 2. 道路排水路工事 L=798m (H22年度:141m、H23年度:390m、H24年度:267m) 3. 道路路肩工事 A=653㎡ (H22年度:197㎡、H23年度:136㎡、H24年度:320㎡) 4. 道路防護柵工事 L=171m (H22年度81m、H24年度90m) 5. 散策路維持管理作業 延べ L=17,750m (H22年度:8,650m、H24年度:9,100m) ※H23は別事業で継続実施									
評価									
1. 平成23年度策定の景観計画に基づき、景観配慮を強化したことで、歴史的風土に相応しい景観創出が成されているととも、民間事業者(民間工事)の先導役として役割を担っている。 2. 来訪者の周遊環境及び住民生活環境の安全性・利便性は確実に向上しており、「もてなし空間」「安心・安全」の環境創出として効果は得られている。 3. 特に住民生活にとってはネットワーク道路利用頻度から、生活道路、また災害時の避難道路として維持・保全が不可欠									


舗装された
ネットワーク道路

事業名	1. 歴史的風土を活用した歴史文化学習の場の整備				関連 計画	整備 計画	(1) 国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進(1) 寺院・遺跡等における歴史展示		
	3 史跡・名所の維持管理								
事業目的	史跡等の周辺環境の維持管理を充実させることで、来訪者が明日香村の史跡や名所を良い環境の中で鑑賞できることにより、明日香村の歴史的風土の保存等に多くの人々の理解・協力・参加を得ることができる。								
事業概要	史跡や名所における除草作業や便益施設の清掃等、環境美化を行う。								
事業費	H22	2,754 千円	H23	3,008 千円	H24	4,406 千円	H25	4,776 千円	総事業費 14,944 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
<p>1. 史跡地等の延べ管理面積 A=287,398㎡ (H22年度:85,810㎡、H23年度:85,810㎡、平成24年度、115,778㎡)</p> <p>2. 史跡地等一覧 ①飛鳥水落遺跡②マルコ山古墳③中尾山古墳④川原寺⑤亀石⑥八釣マキト古墳⑦於美阿志神社⑧都塚古墳⑨牽牛子塚古墳⑩岩屋山古墳⑪東山万葉展望台遊歩道⑫栗原園地⑬奥山久米寺跡⑭高松塚古墳⑮キトラ古墳⑯定林寺跡⑰大官大寺跡⑱史跡周辺公衆便所(3カ所)</p>						 <p>←事業実施前の状況</p> <p>↓事業完了後の状況</p> 			
評価									
<p>1. 史跡地等における来訪者の安全性・快適性は確実に向上しており、効果は高い。</p> <p>2. 少子高齢化等に伴い、地域住民による維持管理が困難な現状下で、年間を通じた適正な管理を行政が行うことが必要不可欠な状況</p>									


事業名	2. 明日香村にふさわしい景観創出				関連 計画	整備 計画	(2)歴史的風土の維持・向上 イ 景観阻害要因の改善		
	4 集落内の公共施設修景								
事業目的	史跡地やその周辺の空間との調和のとれた集落景観の創出することにより、明日香村にふさわしい景観創出を行うとともに、地元住民による集落の家並み保存活動を促し、貴重な歴史的風土を国民共有の財産として後世に引き継ぐ。								
事業概要	史跡地に隣接する集落や特徴のある家並みが残る集落などを重点に、道路、水路などの公共施設を対象として自然色舗装や石積みなど特色のある質の高い整備を行う。								
事業費	H22	9,675 千円	H23	6,206 千円	H24	6,976 千円	H25	10,313 千円	総事業費 33,170 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
1. 水路・河川擁壁工事 L=138m (H22年度:45m、H23年度:35m、H24年度:58m) 2. 和風防犯灯の設置 24基 (H22年度:10基、H23年度:7基、H24年度:7基) 3. 銅製スライドゲート 1基 (H24年度:1基)						 ← 事業実施前の状況 ↓ 事業完了後の状況 			
評価									
1. 平成23年度策定の景観計画に基づき、景観配慮を強化したことで、歴史的風土に相応しい景観創出が成されているとともに、民間事業者(民間工事)の先導役として役割を担っている。 2. 来訪者の周遊環境及び住民生活環境の安全性・利便性は確実に向上しており、「もてなし空間」「安心・安全」の環境創出として効果は得られている。									

事業名	2. 明日香村にふさわしい景観創出				関連計画	整備計画	(2)歴史的風土の維持・向上 イ 景観阻害要因の改善		
	5 建築物等の修景補助								
事業目的	住民の理解と協力の下、建築物、工作物等のデザイン修景を誘導することにより、明日香村にふさわしい景観創出を行うとともに家並み保存活動を促進し、貴重な歴史的風土を国民共有の財産として後世に引き継ぐ。								
事業概要	建築物・工作物・生け垣・石積みを修景し、歴史的風土と調和した景観を創出する。								
事業費	H22	31,036 千円	H23	30,299 千円	H24	33,897 千円	H25	27,917 千円	総事業費 123,149 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
1. 住宅・倉庫等 96件 (H22年度:33件、H23年度:39件、H24年度:24件) 2. 塀 13件 (H22年度:1件、H23年度:4件、H24年度:8件) 3. 生垣の設置 4件 (H22年度:0件、H23年度:2件、H24年度:2件) 4. 自然石石積み 26件 (H22年度:11件、H23年度:10件、H24年度:5件)						 住宅  農業用倉庫			
評価						 自然石の石積み  塀			
1. 建築物等の修景件数はほぼ横ばいとなっており、人口誘導(住宅建築の促進)への影響は得られていないものの、既存住宅に対する改修等の財政支援により、歴史的集落景観の維持・保全に対して効果が得られている。 2. 平成23年度策定の景観計画に基づき、多様化する建築資材や建築様式に対応させることで、歴史的風土に相応しい景観創出が成されている。									

事業名	2. 明日香村にふさわしい景観創出				関連計画	整備計画	(3)歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上① イ 耕作放棄地等への対応		
	6 遊休農地の解消事業								
事業目的	村内に増加する遊休農地・荒廃農地を解消し、農地としての回復を図ることで、農地景観による明日香村にふさわしい景観創出を行い、貴重な歴史的風土を国民共有の財産として後世に引き継ぐ。								
事業概要	村内に増加する遊休農地・荒廃農地を解消し、農地としての回復を図る。回復した農地は、集落組織での営農活動へ繋げることにより、末永く農地景観を創出できるよう仕掛けを行う。また、営農活動を行えない農地については、景観形成作物の作付け等を行う。								
事業費	H22	7,610 千円	H23	7,670 千円	H24	7,450 千円	H25	8,220 千円	総事業費 30,950 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
1. 竹林整備 A=48a (H22年度:16a、H23年度:16a、H24年度:16a) ※実施箇所は同一箇所 2. 荒廃農地の回復整備(糯米) A=13a (H22年度:13a) 3. 遊休農地の有効利用 A=366a (H22年度:110a【大豆・黒大豆・緑豆】、平成23年度:156a【大豆・黒大豆・ショウガ】、H24年度:250a【黒大豆・白大豆・じゃがいも】)※じゃがいもはイベント用田圃 4. 果樹植栽支援 24農家 (H22年度:10農家、H23年度:4農家、H24年度10農家) 5. 花桃植栽(飛鳥川河川敷) H23年度実施						遊休農地の有効利用 (八釣) 			
評価									
1. 直売所等の売り上げは増加傾向が続いており、「農業」の今後の拡大は期待される状況 2. 本事業の目的の一つである「効率的な営農スタイルの構築＝モデル化」が成されていない状況 3. 拡大する遊休農地と利便性の低い農地が大半を占めることから、対応できる組織体制が不足している状況									
						果樹植栽支援の果物(桃・いちじく)			

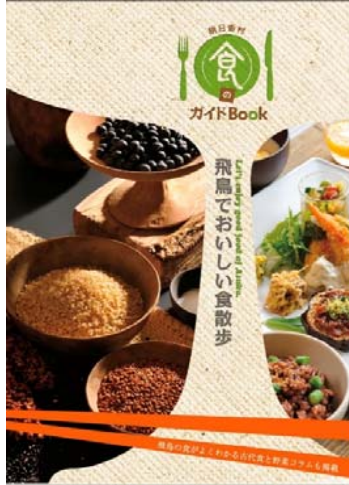
事業名	2. 明日香村にふさわしい景観創出				関連 計画	整備 計画	(3)歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上 ① イ 耕作放棄地等への対応			
	7 四季を感じられる里山創出									
事業目的	荒廃した里山に歯止めをかけ、平坦部からの背景景観を良好に保全・演出することで、里山の創出による明日香村にふさわしい景観創出を行い、貴重な歴史的風土を国民共有の財産として後世に引き継ぐ。									
事業概要	飛鳥京の背景となる丘陵部地区や飛鳥川流域などを重点に、山林と耕作農地の間に存在する荒廃農地で、農地として回復するよりも植栽等により管理することが好ましい土地において、季節感のある花木や広葉樹などの植栽による林槽転換を図る。									
事業費	H22	0 千円	H23	0 千円	H24	0 千円	H25	0 千円	総事業費	0 千円
当初計画から変更	ボランティア団体や大学連携の活動において、里山の整備を実施。									
H25事業内容	—									
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等				
評価										



事業名	2. 明日香村にふさわしい景観創出				関連 計画	整備 計画	(2)歴史的風土の維持・向上 ア 明日香に相応しい景観の形成		
	8 飛鳥川源流域における河川景観復元								
事業目的	万葉集に詠われた飛鳥川の景観を創出することで、河川景観による明日香村にふさわしい景観創出を行い、貴重な歴史的風土を国民共有の財産として後世に引き継ぐ。								
事業概要	飛鳥川源流域において、広葉樹植樹や散策路整備、棚田の復元など歴史的特性にふさわしい風景の再現する。								
事業費	H22	0 千円	H23	0 千円	H24	0 千円	H25	0 千円	総事業費 0 千円
当初計画から変更	ボランティア団体や大学連携の活動において、河川景観復元整備を実施。								
H25事業内容	—								
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
評価						 <p>『飛鳥川の飛び石』(稲渚) (重要文化的景観の構成要素)</p>			
						 <p>女渚(畑)</p>			

事業名	2. 明日香村にふさわしい景観創出				関連 計画	整備 計画	(2)歴史的風土の維持・向上 ア 明日香に相応しい景観の形成			
	9 1種地区内農地支援事業									
事業目的	飛鳥寺や飛鳥京跡苑池、板蓋宮など飛鳥京中心部の枢要な遺跡が集積している平地水田を農地景観として保存することにより、明日香村にふさわしい景観創出を行い、貴重な歴史的風土を国民共有の財産として後世に引き継ぐ。									
事業概要	第1種歴史的風土保存地区において、継続的に農地や農業用水等の資源を守る共同活動に対する支援を行う。									
事業費	H22	0 千円	H23	0 千円	H24	0 千円	H25	0 千円	総事業費	0 千円
当初計画から変更	村の単独財源で実施									
H25事業内容	—									
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等				
評価										

事業名	2. 明日香村にふさわしい景観創出				関連 計画	整備 計画	(2)歴史的風土の維持・向上 ア 明日香に相応しい景観の形成		
	10 ボランティア等による歴史的風土の保存								
事業目的	ボランティアと地元との連携による景観保全活動により、明日香村にふさわしい景観創出を行い、貴重な歴史的風土を国民共有の財産として後世に引き継ぐ。								
事業概要	飛鳥保存に関心のある人々を対象として広くボランティアを募集し、飛鳥の歴史的風土を構成する里山・竹林・河川・古道・農地等の整備を村民と力を合わせて行う景観・環境保全活動等を支援する。ボランティアの募集やボランティア団体との調整を行いながら、飛鳥川や里山などの除草、清掃、植樹及び簡易な整備等を年数回実施								
事業費	H22	1,230 千円	H23	1,681 千円	H24	1,720 千円	H25	1,757 千円	総事業費 6,388 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
<p>実施箇所 7箇所(H22年度:2箇所、H23年度:2箇所、H24年度:3箇所)</p> <p>実施回数 9回(H22年度:3回、H23年度:3回、H24年度:3回)</p>						 <p>景観ボランティア明日香の活動の様子(飛鳥川周辺)</p>  <p>活動前(繁茂する竹林)</p>  <p>活動後(水面が見える飛鳥川)</p>			
評価									
<p>1. 「歴史的風土」の維持保全に係る担い手が不足している中で、村民以外の「新たな担い手」として地域活力向上に対して大きな効果をあげている。</p> <p>2. 地域住民レベルでは介入できない景観阻害要因(竹林等)の撤去にも取り組まれており、景観形成(改善)としての効果も高い。</p> <p>3. ボランティア団体に限らず学校法人(関西大学)・企業(TOTOなど)も参画した活動が展開されており、多様な担い手による「歴史的風土」の維持保全が実現されている。</p>									

事業名	2. 明日香村にふさわしい景観創出				関連計画	整備計画	(2)歴史的風土の維持・向上 ア 明日香に相応しい景観の形成		
	11 景観に関する計画策定								
事業目的	明日香に相応しい景観をより具体化することで、官民が共通した景観に対する認識を持つことにより、明日香村にふさわしい景観創出を行い、貴重な歴史的風土を国民共有の財産として後世に引き継ぐ。								
事業概要	景観に対するきめ細かな配慮を可能とするため、各集落において住民自らが景観に対するルールを検討し、景観に関する計画を策定する。また、土地利用のあり方を明確にするため、発掘成果を基に、文化財の保存管理計画を策定する。								
事業費	H22	1,230 千円	H23	1,681 千円	H24	2,751 千円	H25	4,240 千円	総事業費 9,902 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 明日香村景観条例(H22.12.24)、明日香村景観計画(H23.3) 2. 明日香景観デザインマニュアル(H23.3) 3. 公共事業景観形成指針(H24.3) 4. 大字景観計画 <ol style="list-style-type: none"> ①川原大字(H23.6)②野口大字(H24.3)③奥山大字(H25.3)④真弓大字 5. 文化財総合保存計画の改訂(H26.3) 						 			
評価						 <p>『屋根並みの美しい集落づくり』 (奥山大字景観づくり協議会の目標)</p>			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成23年度策定の景観計画に基づき、多様化する建築資材や建築スタイルに対応していることで、明日香村の魅力である「日本のふるさと」としての景観維持・保全に効果をあげている 2. 大字景観計画の策定を行うことで、景観に対する住民の意識が高まっている。 3. 村内全域が周知の遺跡としてとらえている中で、各地域の文化財保存と活用についての意識高揚に貢献している。 									

事業名	3. 歴史的風土を活用した地域産業振興				関連計画	整備計画	(3) 歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上 ② うにぎわいの拠点形成		
	12 観光活性化事業								
事業目的	棚田や史跡を舞台とした観光イベントを活用し、農商工を連携した観光業の仕組みづくりを積極的に行うことにより、歴史的風土を保存するための地域活力の向上を図る。								
事業概要	農商工を連携させ観光振興に繋げるため、専門スタッフを配置し観光振興の仕組みづくりを積極的に行う。「観月会」や「光の回廊」など夜のイベントや夏・冬のツアー企画など、今まで来訪者が少ない期間でのイベント開催を行うと共に、「彼岸花祭り」など明日香村の景観を象徴するイベントの開催なども実施する。								
事業費	H22	19,308 千円	H23	21,781 千円	H24	18,178 千円	H25	26,215 千円	総事業費 85,482 千円
アウトプット(成果物・成果品等)					事業概略図・イメージ図等				
<ol style="list-style-type: none"> 観光イベント「飛鳥・光の回廊」「彼岸花祭り」「農林商工祭」「月を観る会」 観光パンフレット等作成 わくわくマップ 370,000部(H23年度:250,000部、H24年度:120,000部) 食のガイドブック 40,000部(H23年度:30,000部、H24年度:10,000部) バーチャル飛鳥京 バーチャルコンテンツ「川原寺」「飛鳥寺」「石舞台」「水落遺跡」「飛鳥伝板蓋宮」 ※更新作業継続中 飛鳥ロケーションナビ WEBページ作成 http://asuka-locashien.net/ (H24年度) 教育旅行拡充による民泊の利用促進(延べ2,380泊・H25) チャレンジショップ開設による活力向上(6店) 					<p>彼岸花祭り (石舞台会場) (行幸ウオーク・稲澗棚田)</p>   				
評価					 <p>食のガイドブック</p>  <p>飛鳥光の回廊(岡)</p>				
<ol style="list-style-type: none"> 観光イベントについては、通常とは時間帯・規模等も異なることから、村全体の来訪者数増加及び経済効果の底上げとしての効果は得られている。 観光パンフレットについては、広範囲に広がる観光スポットを周遊するためには不可欠なアイテムであり、来訪者の利便性向上に寄与している。 バーチャル飛鳥京については、CG映像と同様に、これまで「地下遺構であるため、その歴史的価値が目に見えない、分かりづらい」と言った指摘(低評価)に対して、往時の迫力ある姿等を映像で示すことで、飛躍的に分かりやすく「見える化」を実現しており、歴史展示の新たな手法(コンテンツ)として効果は高い。 国内外からの教育旅行の需要に応え、農家体験や民泊による新たな宿泊形態を構築しつつある。 									

事業名	3. 歴史的風土を活用した地域産業振興				関連 計画	整備 計画	(3)歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上 ① イ 耕作放棄地等への対応		
	13 特産品の開発支援								
事業目的	地元産の農林産物を活用した特産品の開発支援や販路開拓により、歴史的風土を保存するための地域活力の向上を図る。								
事業概要	歴史的風土の保存にとって不可欠な農業振興を図るため、新鮮で安全・安心な農林産物の安定生産と村内農産物を活かした特産品づくりを推進するとともに、販売促進を図る。また、明日香村農産加工所の円滑な運営による既存加工品の商品性の向上、新規格商品の開発を行い、飛鳥ブランドの定着を図る。								
事業費	H22	1,980 千円	H23	3,580 千円	H24	3,610 千円	H25	8,248 千円	総事業費 17,418 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
1. 試作品(特産品) 12品 (H22年度:6品、H23年度:3品、H24年度:3品) 2. パンフレット(飛鳥ブランド) 35,000部(H22年度) 3. 販路拡大・開拓に向けたPR活動 24回(H22年度:5回、H23年度:6回、H24年度13回) 4. ビジネスマッチング 1回(H24年度)						 飛鳥ブランド 認定商品			
評価									
1. 販路拡大に向けたPR活動により、飛鳥米の売り上げが倍増しており、商品PRとしての一定の効果は得られている。 2. 開発試作品が、主力商品にはなっていない状況であることから、販売手法等の検討を行う。						 特産品開発 の様子			

事業名	3. 歴史的風土を活かした地域産業振興に関する事業				関連計画	整備計画	(3)歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上 ① イ 耕作放棄地等への対応		
	14. 環境保全型農業の推進								
事業目的	堆肥施設整備や堆肥の利用促進を行い、飛鳥ブランド育成により、歴史的風土を保存するための地域活力の向上を図る。								
事業概要	村内で発生する刈草等の有機質資源の活用有効を図り、循環型社会の実現を目指す。刈草以外の間伐材、竹等の堆肥化も実験し、付加価値の高い安全・安心な農産物生産の支援を行う。								
事業費	H22	420 千円	H23	320 千円	H24	320 千円	H25	310 千円	総事業費 1,370 千円
当初計画から変更	緑肥製造施設が未実施								
H25事業内容	パンフレット作成、堆肥利用組合への支援(310千円)								
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
堆肥利用促進パンフレット 10,000部 (H22年度:5,000部、H23年度:5,000部)						 <p>乳牛が排泄した糞尿は、畜舎内で糞料(製材業者から購入したおがくず)に吸着させ、搬出して発酵処理施設で堆肥化処理を行い、戻し堆肥として再利用</p>  <p>牛ふん堆肥</p>  <p>堆肥を使用することによる利点 ※2トントラック1車 8,000円 ※20斤入り小袋 280円 配布時期 2014年5月～10月(毎月10日頃) 配布量 10アール当たり20～4トン</p> <p>堆肥パンフレット</p>			
評価									
<p>1. 村内直売所の販売数も増加傾向が続いており、不特定ではあるものの有機肥料による安心安全の農作物の栽培が展開されている。</p> <p>2. 堆肥利用の農作物について、PRが不十分であり、消費者に伝わりにくい状況。</p>									




事業名	3. 歴史的風土を活用した地域産業振興				関連計画	整備計画	(3)歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上 ① ア 地域産業としての農林業の充実		
	15 小規模な農林業基盤整備								
事業目的	景観維持の観点に配慮しつつ小規模な基盤整備を行い、農業を近代化することにより、歴史的風土を保存するための地域活力の向上を図る。								
事業概要	小規模な農業用の水路や道路整備、林業用の作業路整備として補助対象とならないものについて、農地保全及び景観維持の観点に配慮した農林業基盤整備を図る。								
事業費	H22	12,159 千円	H23	24,409 千円	H24	10,270 千円	H25	10,941 千円	総事業費 57,779 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
<p>1. 小規模農業基盤整備(農業)</p> <p>農道舗装工事 3,242㎡(H22年度:30㎡、H23年度:2,916㎡、H24年度:296㎡)</p> <p>農用水路工事 641m(H22年度:196m、H23年度:355mH24年度:90m)</p> <p>農道路肩工事 446㎡(H22年度:174㎡、H23年度:265㎡、H24年度:7㎡)</p> <p>2. 小規模作業路整備(林業)</p> <p>除草作業 69,600㎡(H22年度:23,500㎡、H23年度:23,900㎡、H24年度:22,200㎡)</p> <p>路肩工事 150m(H22年度:40m、H23年度:40m、H24年度:70m)</p>						 <p>実施前の農道 (稲刈)</p>			
評価						 <p>実施後の農道 (稲刈)</p>			
<p>1. 平成23年度策定の景観計画に基づき、景観配慮をより強化したことで、歴史的風土に相応しい景観創出が成されている。</p> <p>2. 法規制の影響により、狭小な農地利用が多い中で、必要最低限度の農業効率化に向けた整備は必要不可欠。</p> <p>3. 補助対象外の軽微な農業基盤整備をきめ細かく実施することで営農意欲を向上させている。</p>									

事業名	3. 歴史的風土を活用した地域産業振興				関連 計画	整備 計画	(3)歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上②イ 観光基盤の整備		
	16 観光基盤整備事業								
事業目的	公共交通の充実を行い、観光の基盤を整備することにより、歴史的風土を活かした地域活力の向上を図る。								
事業概要	来訪者が安全で快適に明日香村を周遊できるよう、駅と周遊ルートの各拠点、国営公園等を結ぶルートのバス運行を行う。また、バス運行と「駐車場」や「レンタサイクル」との連携した、公共交通システムの仕組みづくりや啓発を行う。								
事業費	H22	11,092 千円	H23	11,958 千円	H24	15,293 千円	H25	20,068 千円	総事業費 58,411 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
1. 周遊バス(赤かめ)運行 ・【月～金】 1日9本運行 ・【土日祝日】 (シーズン)1日18本運行※30分間隔 3月末～5月末 (オフシーズン)1日9本運行※1時間間隔 2. 循環バス(金かめ)運行 ・【月～土】 1日7本運行 ※日祝は運休						周遊バス (赤かめバス) 			
評価									
1. 観光交通及び住民生活交通において、特に高齢者にとって重要な交通手段となっている状況 2. 来訪者(外国人も含め。)にとって、バス(バス停・時刻表・運行ルートなど)の情報発信が充分とはいえない						循環バス (金かめバス) 			

事業名	3. 歴史的風土を活用した地域産業振興				関連計画	整備計画	(3)歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上③ 住みたくなる村づくり		
	17 定住促進事業								
事業目的	空き家情報バンク制度の充実を行い、定住人口を確保することにより、歴史的風土を保存するための地域活力の向上を図る。								
事業概要	集落の中で数多く見られる空き家についての情報収集に努めるとともに、住民に対しては空き家の活用に対する啓発を進めるなど、空き家バンクシステムを活用した定住対策を推進するとともに、空き家改修等に対する支援を行う。								
事業費	H22	1,048 千円	H23	1,017 千円	H24	342 千円	H25	2,505 千円	総事業費 4,912 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
1. 空き家登録件数 13件(H25年6月末現在) 2. 空き家利用希望者 263名(H25年6月末現在)									
評価									
1. これまで8世帯の契約が成立しており、今後の発展が期待できる。 2. 明日香村への定住だけでなく、飲食や喫茶など店舗としての活用も見られる。 3. 利用者からは、空き家の改修費用が高つくことから、改修に係る支援が求められている。						<p>登録されている空き家</p>			

事業名	4. 歴史的風土の保存についての国民啓発				関連 計画	整備 計画	(2)歴史的風土の維持・向上 ア 明日香に相応しい景観の形成		
	18 環境美化における巡視・啓発								
事業目的	環境美化に対する取組、明日香村の景観に対する啓発活動を行うことにより、明日香村の歴史的風土の保存に対し、より多くの人々の理解と協力を得ることができる。								
事業概要	観光周遊ルート除草や清掃を定期的実施。また、観光客に対し、明日香村の景観や環境美化について啓発を行う。								
事業費	H22	12,378 千円	H23	12,426 千円	H24	12,582 千円	H25	12,546 千円	総事業費 49,932 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
<p>清掃美化・啓発活動 延べ 74,772人(H22年度:24,756人、H23年度:24,852人、H24年度:25,164人)</p>									
評価									
<p>1. 史跡やその周辺環境、集落景観など村全域において、住民による自主的な維持・保全取り組みの継続に対して、大きな効果を上げている</p> <p>2. 高齢化により、活動が困難になりつつある地域が出てくることが考えられる</p>									
						<p>清掃美化活動の様子 (飛鳥大字)</p>			

事業名	4. 歴史的風土の保存についての国民啓発				関連 計画	整備 計画	(3)歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上① ウ 都市住民との交流の推進		
	19 オーナー制度の推進事業								
事業目的	オーナー制度の支援を行い、明日香村の景観や「農」を広く国民に啓発することにより、明日香村の歴史的風土の保存に対し、より多くの人々の理解と協力を得ることができる。								
事業概要	村内各地に「オーナー制度」を拡大し、継続的に制度を維持することができる仕組みづくりを行う。								
事業費	H22	4,160 千円	H23	4,160 千円	H24	4,140 千円	H25	3,580 千円	総事業費 16,040 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
<p>1. オーナー制度情報誌「あすかの夢だより」 30,000部 (H22年度:10,000部、H23年度:10,000部、H24年度:10,000部) (実施オーナー制度) うまし酒オーナー、一本木オーナー、いも掘りオーナー、森の手づくり塾、阪田なるほど! ふぁーむ、たけのこオーナー、柿オーナー、棚田オーナー(H23年度からNPO法人「明日香の未来を創る会」が主体)</p>						<p>棚田オーナーの 活動風景 (稲刈)</p> 			
評価									
<p>1. オーナー制度については、遊休農地解消に向けた担い手確保、営農スタイルとして大きな効果を上げている。 2. 実施側(インストラクター)の高齢化が進んでおり、継続的な実施が危惧される状況 4. 一定時期にオーナー活動が集中することで道路への駐車やトイレの設置が求められている</p>						<p>オーナー制情報誌 「あすか夢だより」</p> 			

事業名	4. 歴史的風土の保存についての国民啓発				関連計画	整備計画	(1)国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進(1) 工埋蔵文化財の計画的発掘調査の推進		
	20 飛鳥の魅力発信事業								
事業目的	発掘調査の促進や情報発信を行うツールや機会を創出することにより、明日香村の歴史的風土の保存に対し、より多くの人々の理解と協力を得ることができる。								
事業概要	まだ解明されていない遺跡において発掘調査を行い、その成果をより多くの人に理解していただくため、図録の作成や展示の機会創出、講演会の開催などを行う。 また、東アジアとの交流を深く知ってもらうため、村内の中学生を対象に普及啓発活動を行う。								
事業費	H22	18,323 千円	H23	14,366 千円	H24	15,716 千円	H25	14,956 千円	総事業費 63,361 千円
アウトプット(成果物・成果品等)						事業概略図・イメージ図等			
1. 発掘面積 延べ6,291㎡(H22年度2,940㎡、H23年度:1,194㎡、H24年度:2,157㎡) 2. 飛鳥の考古学図録 16,500部(H22年度:7,500部、H23年度9,000部) 3. 文化財調査研究紀要 900部(H22年度:300部、H23年度300部、H24年度:300部) 4. 講演会参加者 延べ 4,289名(H22年度:1,577名、H23年度:1,310名、H24年度:1,402名) (まほろば講座・まるごと博物館フォーラム) 5. かめバスラッピング(H22年度)、映像コンテンツ「日本が生まれた里あすか」【日本語・英語】各30部(H22年度)						 まほろば講座  まるごと博物館フォーラム			
評価						 飛鳥の考古学図録  かめバスラッピング			
1. 発掘調査が有意義に進められ、現地説明会や現地見学会が数多く実施されており、明日香村の文化財の価値を広く知っていただくことに大きく寄与している。									
2. 発掘調査成果を写真などを多く使用し、わかりすくまとめた冊子などを作成することで、新たに明日香村の文化財について興味を持っていただく機会を創出できている。									
3. 講演会の開催により、世界遺産登録に向けての啓発や明日香村に誘客するための機会として大きく貢献している									

事業名	4. 歴史的風土の保存についての国民啓発				関連 計画	整備 計画	(4) 生活環境基盤整備の推進 キ 教育施設の整備		
	21 歴史的風土の担い手育成								
目的	歴史的景観と一体となった風土の重要性の啓発と歴史的風土を啓発できる人材を育成することにより、明日香村の歴史的風土の保存に対し、より多くの人々の理解と協力を得ることができる。								
事業概要	村の無形文化財である「八雲琴」をはじめ、「飛鳥蹴鞠」「万葉朗唱」「南無天踊り」などの伝承芸能を守り伝えていくための活動に対する支援を行う。また、村内小中学生を対象に、飛鳥文化を学び世界に向けて明日香村の重要性を発信できる人材の育成を行う。								
事業費	H22	5,671 千円	H23	7,432 千円	H24	6,434 千円	H25	7,446 千円	総事業費 26,983 千円
事業内容						事業概略図・イメージ図等			
<p>1. 歴史的風土の担い手育成事業 「明日香の風」(訪問先:アメリカ合衆国) 30名参加(H22年度~H24年度:各10名)</p> <p>2. 伝承芸能の活動継続 八雲琴・南無天踊り・飛鳥蹴鞠・万葉朗唱</p>						<p>郷土学習 「明日香学」 の様子 (明日香小学校)</p>			
評価									
<p>1. 将来の歴史的風土の担い手となる中学生が、海外の文化・伝統を知り、外部からの視点で明日香村を見つめることで、郷土愛の醸造(人材育成)につながっている。</p> <p>2. 地域の自然や歴史の価値を「明日香学(郷土学習)」として独自性の高いプログラムを学ぶことで、郷土愛の醸造(人材育成)につながっている。</p> <p>3. 歴史的風土を形成する「周囲の環境＝住民活動」の中でも重要な位置づけである伝承芸能を保存・継承する母体(伝承芸能保存会)の活動を支援することで、その継承と担い手の維持に大きく寄与している。</p> <p>4. 「明日香の風」参加の学生は、「明日香村に住んで何か村のために役に立ちたい」等の意見が多く、明日香村への定住意識や協力意識が醸造されており担い手育成として非常に効果が現れている。</p>						<p>伝承芸能 発表会 「八雲琴」</p>			